

令和5年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 だんだんの樹	代表者	理事長 服部恵津子	法人・ 事業所 の特徴	共に支えあい笑いあえる第二の家族、をモットーに利用者様の日常がより豊かになるよう支援しています。利用者様が当たり前と思う毎日がいつまでも続けられるよう、在宅生活を支えています。 事業所として自治会に参加したり、通い中も外出を積極的に取り入れています
事業所名 (泉 区)	小規模多機能事業所 だんだん	管理者	土田紋子		

出席者数	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・ 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援 センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人		5人	1人		1人		3人		11人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	服薬管理に対する職員の意識向上 事業所の改善計画の途中経過報告を3 か月に1回行う	『慣れ』による油断が起因した内服事故 が多く報告されている 経過報告を行っていなかった	小さな車両事故が何度もありました。事故は すべて不注意によるものです。利用者様には 運転者には声掛けしない、というルールも必 要なのではないでしょうか	マニュアルを厳守すること 不注意による、うっかりミスをお互いの声 掛けで予防していく
B. 事業所のしつらえ・環境	運営推進会議の方にも普段の様子を見 学してもらい 感染拡大を予防し事業の継続	感染症クラスターは発生しなかった 希望するメンバーの方に事業所案内を 行ったが、積極的な働きかけを しなかった	居心地がよさそうだ、という意見の一方で 新しい運営推進会議メンバーにとっ ては、分からないという意見も多かった。	経年劣化による不都合を早めに改善し ていく
C. 事業所と地域のかかわり	小規模多機能事業所として地域の役割 をスタッフ間でも話し合う	コロナ禍が落ち着き、復活した地域 行事に参加するよう意識していた	だんだんという名前は知っていても中身ま では？という方もいらっしゃると思うので、XやHP を知っていただくためにも活用できたらと思う 地域のイベント等にも積極的に参加され関 わりを大切にしていることが伺われます	自治会行事への参加
D. 地域に出向いて本人の暮 らしを支える取組み	運営推進会議を地域との情報交換の場 にする	地域の情報を得るため会議の進行を 心掛けたが、聞くのみで生かすことが 出来なかった	利用者本人の地域の方の参加や、地域 の困りごとについて話し合うことができな かった	運営推進会議に利用者家族が参加でき るように、積極的に呼びかける
E. 運営推進会議を活かした 取組み	運営推進会議で得た情報を地域包括等 と連携して、支援できる体制作り	地域包括と新たな連携につながる 事例はなかったが、これまでの連携を 継続している	運営推進会議を通じて、事業所の取り組 みについては理解が得られた。 事業所の情報以外に地域の事を話す きっかけがなかった。	運営推進会議参加の民生委員の方 と、地域の情報交換を行う
F. 事業所の防災・災害対策	防災マニュアルを整備する	マニュアル作成している BCP作成までには至っていない	防災と災害は非常に重要な事なので今 後も利用者の安全を第一に頑張ってくだ さい	職員へBCPの存在を周知させる